

### 7-3 最近の小型ボアホール多成分歪計（震研-92型）のデータ

#### Recent Observation Data by New Multi-Component Small Borehole Strain Meter (ERI-92 type)

東京大学地震研究所

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

地震研究所では震研92型小型ボアホール多成分歪計を開発し観測点を増設しつつある。ここではその中で三カ所の最近のデータについて紹介する。三カ所とも横抗内に1 m程度のボアホールに埋設したものである。いずれ100m程度のボアホールにも埋設する予定である。テレメーターの故障で欠測のところもあるが順調にデータは蓄積されている。各観測点の歪計の設置状況は以下の様である。

油壺観測点：1成分歪計2本

N67E：1991年1月21日埋設

N125E：1992年7月13日埋設

内浦観測点：3成分歪計1本

N55E, N175E, N115E：1991年11月5日埋設

長坂観測点：3成分歪計1本

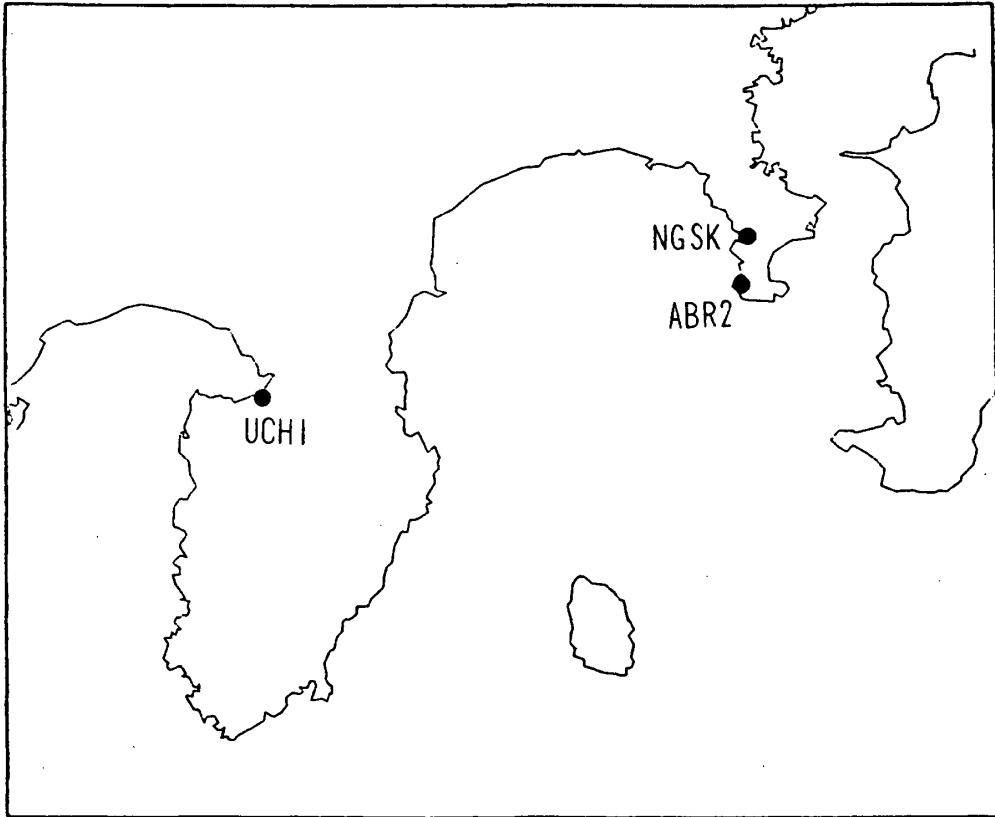
N60E, N120E, NS：1992年9月17日埋設

以上の歪計に関して最近の観測データを紹介する。なお感度は暫定値である。

(石井 紘)

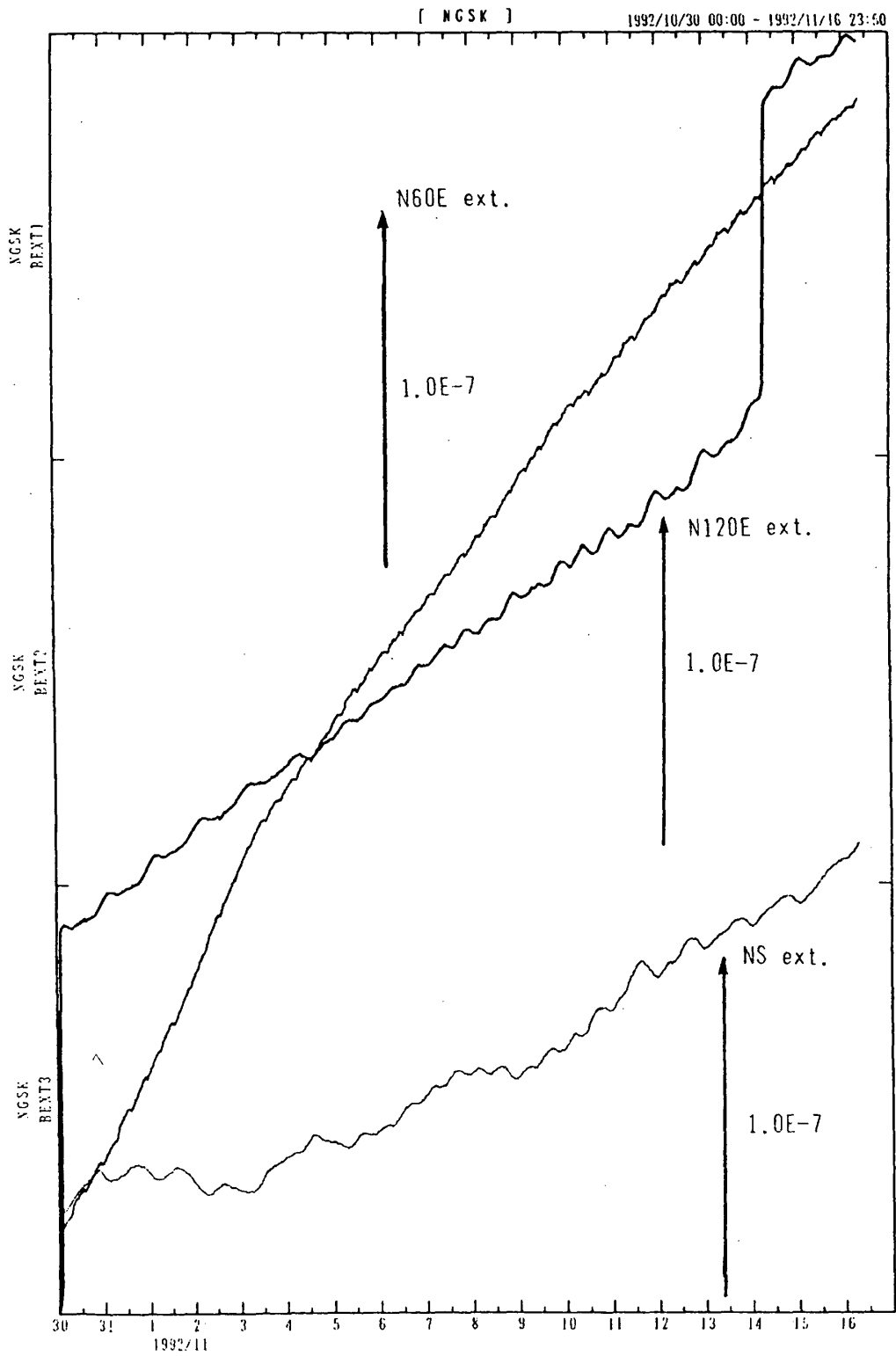
#### 参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所, 新しい小型ボアホール歪計による観測(油壺における観測例), 連絡会報, 47, 1992, 170-172.
- 2) 石井 紘, 松本滋夫, 平田安廣, 山内常生, 高橋辰利, 鈴木喜吉, 渡辺 茂, 若杉忠雄, 加藤照之, 中尾 茂, 新しい小型ボアホール歪計の開発と観測  
地球惑星科学関連学会1992合同大会予稿集, 1992, 205.
- 3) 陳 光斉, 石井 紘, 中尾 茂, 小型多成分歪計の力学特性について,  
地球惑星科学関連学会1992合同大会予稿集, 1992, 204.



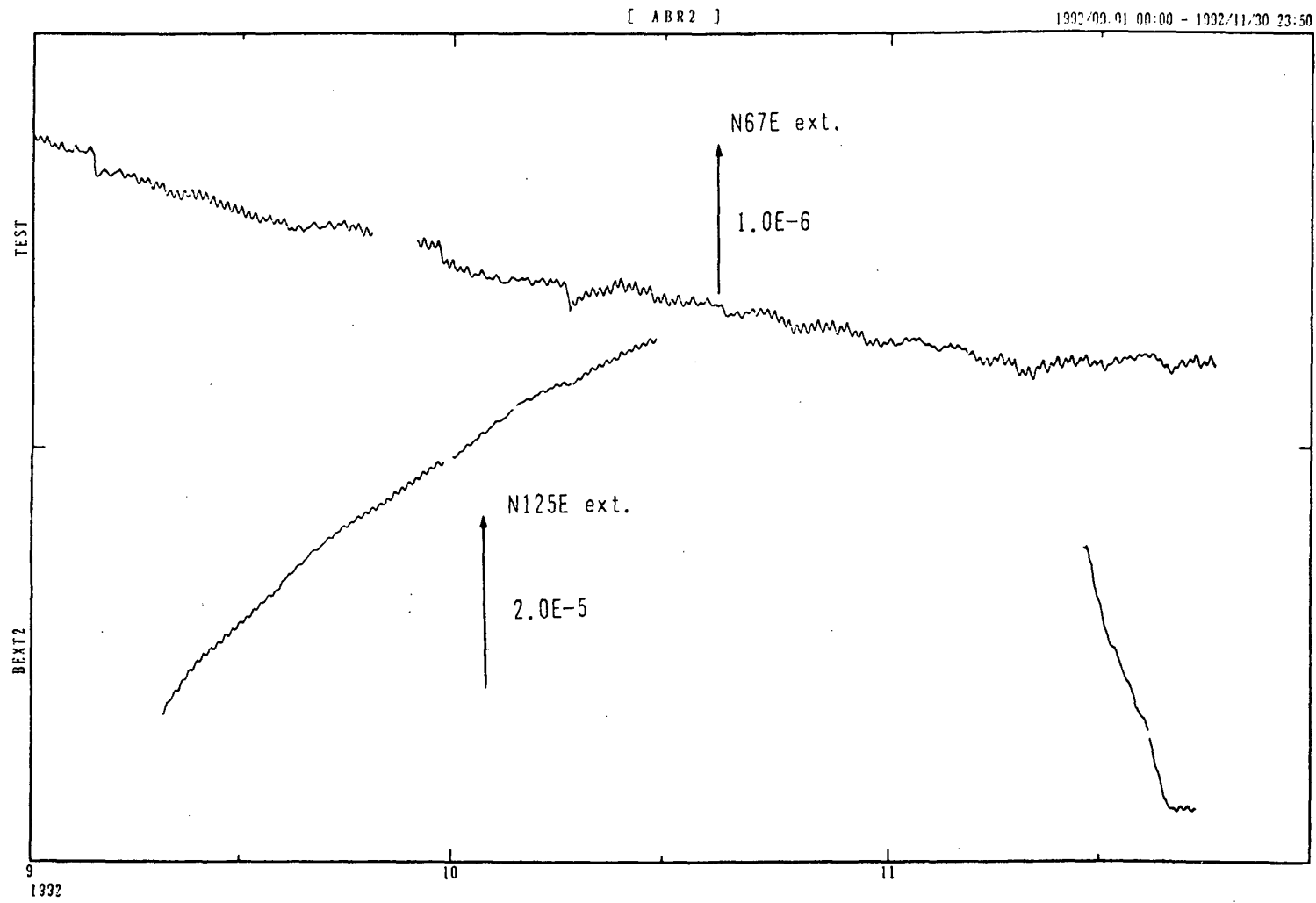
第1図 観測点配置

Fig. 1 Location of Observation Stations.



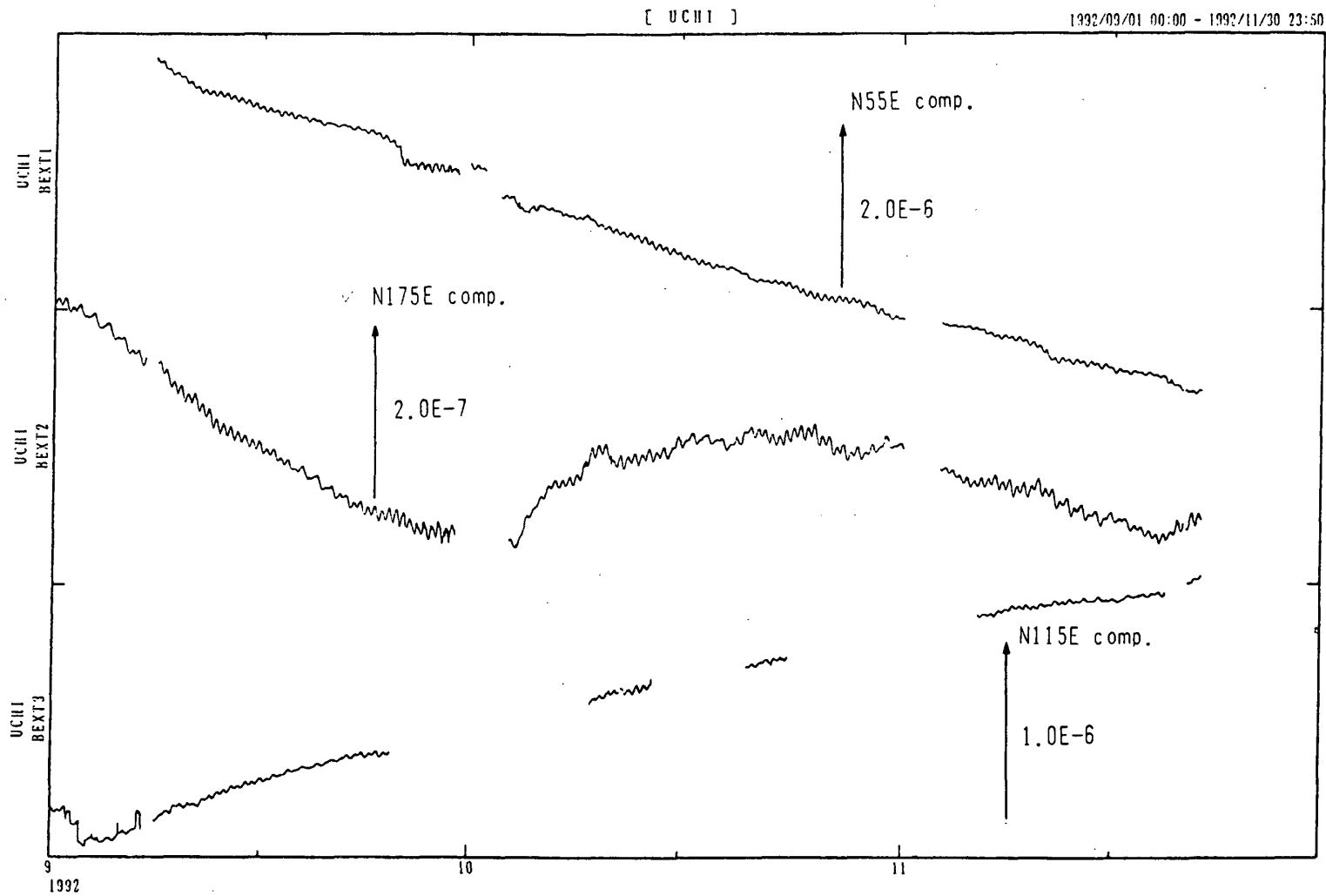
第2図 長坂観測点で観測された3成分歪データ (1992年10月30日～11月16日)

Fig. 2 3 component strain data observed at Nagasaka station (October 30, 1992 – November 16, 1992).



第3図 油壺観測点で観測された歪データ (1992年9月1日~11月22日)

Fig. 3 Strain data observed at Aburatsubo station (September 1, 1992 - November 22, 1992).



第4図 内浦観測点で観測された3成分歪データ (1992年9月1日~11月22日)

Fig. 4 3 component strain data observed at Uchiura station (September 1, 1992 - November 22, 1992).